

第22回育成会文化祭り



☆ 手をつなぎ、このぬくもりをわからあおう
☆ 支え支えられ共に暮らせる地域社会を！

22年目を迎えた育成会文化祭りが9月9日（土）に沖縄市民会館大ホールにて開催され、県内各地から25団体、450名の皆さんが舞台発表及び作品展示に参加されました。

公私ともに大変お忙しい中をご臨席いただきましたご来賓の皆様には、心からお礼を申し上げます。

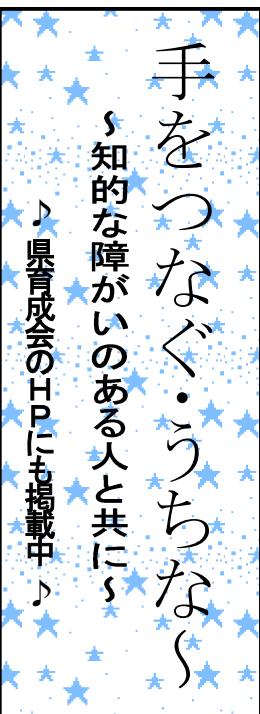
さて、辛く悲しい神奈川県相模原での事件から約1年過ぎ、多忙な毎日の暮らしに追われているうちに事件は忘れ去られようとしているかもしれません。障がいの有無に係らず、生まれ育った地域で安心して生活が出来る共生社会の実現を望むためには、事件は決して風化させてはいけません。

次年度は総合福祉法の一部見直しや障害福祉サービス報酬の改正が行われますが、耳に届いてくるのは障がい当事者や家族に対する厳しい福祉政策ばかりのようです。

「障がいのある人やその家族が、自分たちの住んでいいる地域で安心して暮らす」との願いは、私達保護者組織である沖縄県手をつなぐ育成会の最大の活動テーマであるために、障がいのある人の社会参加の機会を増やすために、共生社会の実現を目指す活動を強く推進していきます。

当文化祭りは、障がいのある人の社会参加と、仲間達や県民との相互交流を深める大きな育成会事業の一つであります。今年も日々練習を重ねた活動の成果や熱演を披露した大勢の参加者の笑顔で幕を閉じたことを報告します。

手をつなぐ・うちな～
♪ 知的な障がいのある人と共に♪
♪ 県育成会のHPにも掲載中♪



発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 - 5727
FAX 098 - 882 - 5720
E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP : http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中寛定価 50円 (会費に含む)

【目次】

- | | |
|----|------------------|
| P1 | 第22回育成会文化祭り |
| P2 | 佐賀大会参加者感想文 |
| P3 | 審査会・ゴルフ大会報告・理事通信 |
| P4 | 理事長予定・ゆんたく広場他 |



第57回九州地区育成会佐賀大会感想



九州佐賀大会 第1分科会に参加して

北部心身障がい者親の会
田中里英



第一分科会では「育つ」をテーマに人の方が発表されました。子ども達の育ちを見つめながら、支援者はどのように関わり、環境を備えて行けば良いのか、4つの観点から話し合いの場を持たれました。その中で、学校からは小中高における「つないで育てる」事例が紹介され、今後、事例をもとにした研修の場が必要であり（病状や診断名の一人歩きではなく）常に一人ひとりを見ていき、社会自立を目指した支援をすることで働く人になれる力を身につけさせたいという意思を分かち合いました。また、支援する側の関わりとして「出来る人が」「出来るることを」「出来る時に」子どもが主役であることを支える支援者もまた楽しく関わることで、末永い活動につながることになりました。そのためにもネットワークが不可欠であり、いかに地域共生型サービスを整えていくかが大切であるということでした。さらに地域の中で生き生きと暮らすために熊本での育成会の取り組みが紹介されました。地域の中で本人が心豊かに輝く人生を送っていくには、こうした育成会の取り組みを欠かすことはできず、必要な人のためにしぶとく続けて行く事が大切とありました。最後にボランティアとの関わりでは、大学生や音楽療法士また療法士の卵にボランティアを依頼する事で、これから社会を担う彼らにとっても障がいについて理解が深まる上、分離での活動において必要となるサポートカードを記入する機会を保護者が持つことや託す練習にもなるということが何か、広くシェアしていきたいです。

九州佐賀大会 第3分科会に参加して

北部心身障がい者親の会
岡江美子



「働く」をテーマとした分科会では、3組の発表がありました。学校卒業後、どのように過ごすのか、とても重要な課題です。どんな事業所に通うにも、日ごろから規則正しい生活習慣を身につけておくことが、一番大切だと感じました。印象的だったのは、ひとり暮らしをしながら、近くの食堂で働く男性の事例です。彼は卒業後、グレープホームで6年間過ごします。その間、身の周りの事を自分でできるようになり、ひとり暮らしが実現。職場でも、落ち着いて仕事をこなす様子がビデオで紹介されました。男性の支援者は、「本人の力を信じて、支援しすぎない」、「失敗するチャンスを取り上げず、その都度向き合う」とが大切だと話しています。この事例から、ねばり強い支援が、本人の生きる力につながることが分かりました。この研修会に参加して、得た情報や教訓を自分も親しまいました。



九州佐賀大会 本人部会で発表して

おきなわ工房
千佳



分科会には九州各县から200人の参加者がいて、20のグループにわかれました。グループではゲームをしたり、好きなことや得意なことなどをいろいろな話し合いをしました。みんなの前で発表もしました。ほかの県の代表者で、すごいなあと思いました。また、私は沖縄県の代表として、みんなの前で発表もしました。ほかの県の代表者で、とても緊張しましたが、同じグループの人から優しい応援もあり最後までがんばることができました。発表の後にグレープで特異な編み物も見せました。その時にみんなから「上手だね」と言われたことが1番嬉しかったです。

有田焼工場ではマグカップの絵付けも見せました。その時にみんなから「上手だね」と言われたことが1番嬉しかったです。

私は絵も得意なので、お花の絵をかきました。焼きあがつて沖縄に届くのに1か月かかると言われました。いつも考えてかいたお花の絵がどんなふうになつているかとても楽しみです。

佐賀県大会はいっぱい緊張した研修会でした。だけど友達もたくさんできました。また行きたいと思いました。

「私の声を届けます」コーナーでは
記事投稿の募集を隨時行っています。
知的障がいのあるご本人様の日頃の想い・
内容を多くの方に届けてみませんか?
お問い合わせは県育成会までお願ひします。

[審查委員]

- 下地直子指導主事

 - ・ 県精神保健福祉会連合会
 - ・ 山田圭吾会長
 - ・ 吉田悦治准教授
 - ・ 新川伸一 部長
 - ・ 運天健事務局長
 - ・ 與那嶺武課長
 - ・ 田中寛理事長
 - ・ 琉球大学
 - ・ 県社会福祉協議会施設団体福祉部
 - ・ 県身体障害者福祉協会
 - ・ 沖縄県障害福祉課
 - ・ 県育成会

★投稿募集★

「私の声を届けます」コーナーでは
記事投稿の募集を隨時行っています。

知的障がいのあるご本人様の日頃の想い・活動内容を多くの方に届けてみませんか?

お問い合わせは県育成会までお願ひします。

皆中部3に一合査文
今様学門名今渡797福委平
後、生4回り点名社員及成
のお部名中「審」のセ会び29
ごめ門、学体査、審ンが一年
活で6ポ生験しポ査タ、障度
躍と名ス部作各ス員19害一
をうでタ門文賞タがに月者心
祈ごす14小を1て20週の
念ざ。小名学決一開日間輪
致い22学、生定14応催、ポを
しま名生高部し点募さ水ス広
ますの部校門ま一頂れ一タげ
す。入門生入しをいま沖一る
。賞5・賞た長たし縄、体
者名一者。時作た県の験
の、般は間文。総審作



写真右：監事 外間哲雄さん
写真左：理事 桑江澄子さん

有に心中と付参ル育二ブ
難有上で資が・加当フ成平に西
う効り、金で賞い日大会成て原
ご活感温不き品たは会運29、町
ざ用謝か足まのだ、「當年好の天の沖繩カントリーカラ
いませていいだときます。支もと
この援をな資金はいい運営の大
きの切きの



29年度チャリティ

加がありました。ワンオンコンテストが行われた名物の池越、6番ホールでは115名がチャレンジし、三升ガーミをゲットしたのは、早朝にスタートした宜野湾市在中のゴルフ歴3年の親富祖さんでした。景品のガーミの古酒は、ゴルフ仲間と楽しく呑むとのことでした。造成した資金は後日、知念チャリティゴルフ実行委員長より県育成会に寄付されます。実行委員会の皆様お疲れ様でした。終わりにたくさんの景品を提供していただきました、企業の皆様、またご寄付いただきました団体・個人の皆様、本当にありがとうございました。来年も開催いたします。ご協力よろしくお願ひ申し上げ感謝いたします。

成大に開催いたしました。当日は晴天でゴルフ日和でございました。午前7時からプレイがスタートし、午後6時半ごろプレイが終了いたしました。参加者は本島北部・中部・南部のゴルフ愛好者、育成会の関係者、150名近くの参加がありました。ワンオンコンテストが行われた名物の池越、6番ホールでは115名がチャレンジし、三升ガーミをゲットしたのは、早朝にスタートした宜野湾市在中のゴルフ歴3年の親富祖さんでした。景品のガーミの古酒は、ゴルフ仲間と楽しく呑むとのことでした。造成した資金は後日、知念チャリティゴルフ実行委員長より県育成会に寄付されます。実行委員会の皆様お疲れ様でした。終わりにたくさんの景品を提供していただきました、企業の皆様、またご寄付いただきました団体・個人の皆様、本当にありがとうございました。来年も開催いたします。ご協力よろしくお願ひ申し上げ感謝いたします。

チャリティーゴルフ大会、
景品提供・ご寄付、ご参加
ありがとうございました。
恒例となりました県育成
会活動資金達成チャリティー

東 宏明 理事



理事通
信



☆10月14日(土)名護学院保護者会研修

☆10月16日(月)沖縄市福祉祭り

☆10月19日(木)沖縄県虐待防止・権利擁護指導者研修

☆11月5日(日)全国政策センター委員会

沖縄市育成会 保護者会研修

☆11月7日(火)内閣府バリアフリー会議

☆11月9日(木)歯科SUN会議

☆11月11日(土)日本障がい者スポーツ大会
ゆうあいスポーツ大会

☆11月11日(土)日本障がい者スポーツ協会研修

★ 9月16日(土) 全国事業所委員会
 嘉手納スペシャルオリンピック
 ★ 9月21日(木) 県施策推進委員会
 ☆ 9月22日(金) 県スポーツ推進委員会
 ☆ 9月23日(土) 24日(日) 北海道
 全国育成会北海道大会(札幌)

理事長行事報告 9月

A cartoon illustration of a man driving a red convertible car with a white top down a winding road. The background features green hills and orange autumn trees.



『手をつなぐ』 配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。お申込みのご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円

沖縄県手をつなぐ育成会では専用ホームページを開設しております。最新の情報や、活動報告、広報誌のカラー紙面もご覧頂けます。是非アクセスしてみて下さいね！！

育成会HP : www.oki-iku.com

栃木県の知的障害者支援施設内での複数職員による虐待事件調査の中で、元栃木県警OB職員が内部調査の証拠を隠滅していましたとされる報道がありました。厚生労働省の27年度の施設内における障がい者虐待対応状況調査によると、被害者の83%が知的障がい者であり、そのうちの70%が障害支援区分のある、より支援を必要とされる人という事です。閉ざされた場所での虐待は悪質な犯罪ですが、それを組織で隠ぺいしようとする行為に対しても、重罰を持つて対処する必要があります。沖

※未掲載の方は第156号にてご紹介致します。

個人
宮城
秀子

29年度賛助会員
（敬称略）
ありがとう

贊助會昌
加入

加入のお願い

★ 貢助会員	個人 1口
★ 特別会員	企業・団体 1口
★ 琉球銀行	5千円
石嶺支店(普)	444100
♪ 連絡先 沖縄県主をつなぐ育成会	1521721
♪ Tel 098(882)5727	
♪ 申込書は県育成会HPからもダウンロード可能です。是非ご利用下さい。	

その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆうあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。

沖縄県手をつなぐ育成会は、
知的に障がいのある子を持つ親等
を中心に結成され、「知的障がい
者(原)の心豊かな暮らし」、
「社会が障がいの有無に係わらず
相互に人格と個性を尊重し合う
共生社会」の現実を目指し活動を
しています。

平成29年度のスタートを切り
事業が開始しております。